第 4.0 版（2025 年 3 月 13 日作成）

これまで当院の外科に通院または入院されたことのある患者さん
またはそのご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

京都第二赤十字病院薬剤部では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は患者さんの日常診療で得られたカルテ情報を用いて行います。

この研究の計画や方法について知りたいことがある場合や、カルテ情報を利用することに同意できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】
胃がん術後補助化学療法施行患者に対する薬剤師による継続的な薬学的管理の効果に関する研究

【研究の目的】
外来がん薬物療法において、薬剤師が継続的に患者をフォローし、副作用マネジメントや薬学的介入を行うことによって、治療の継続性や安全性にどのような効果が認められるのかを検討します。

【研究の方法】
〇対象となる患者さん
S-1 単剤による術後化学療法（1 年間）が施行された 20 歳以上の胃がんの患者さんで、治療開始時に規定された体表面積当たりの投与量を投与された患者さん。
（ただし、治験や医師主導臨床試験に参加された方は除きます。）

〇研究期間
研究機関の長の実施許可日　～　西暦 2026 年 3 月 31 日

〇利用するカルテ情報
施設背景、患者背景（年齢、性別、体表面積、Stage、Ccr、BMI、アルブミン値）、S-1 投与量、S-1 投与状況（コースごとの処方日数）、薬剤師の介入の有無、薬剤師による提案の有無と内容、治療中止の有無と理由、減量の有無と理由、休薬期間延長の有無と理由、緊急入院の有無と理由、支持療法薬の処方状況

〇利用または提供を開始する予定日
研究機関の長の実施許可日

〇個人情報の取り扱い

研究のために当院で集めた情報をこの研究に使用する際は、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います（これを匿名化といいます）。あなたと研究用の番号を結びつける対応表および研究のために集めた情報は当院の研究責任者（京都第二赤十字病院　薬剤部　友金幹視）の責任の下、厳重な管理を行います。

匿名化した情報は研究代表者に郵送（パスワードでロックした USB メモリを使用）、または電子メール（パスワードでロックしたファイル）で送信して提供されます。提供された情報は、研究代表者（福岡大学薬学部・福岡大学病院薬剤部・松尾宏一）の責任の下、適切に保管し、その後は個人情報に十分注意して廃棄します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は削除して利用いたします。

【研究の実施体制】

〇研究代表者

福岡大学薬学部・福岡大学病院薬剤部・松尾宏一

〇研究事務局

福岡大学薬学部救急・災害医療薬学教室・福岡大学病院薬剤部・林稔展
〒814-0180　福岡市城南区七隈 8-19-1
Tel：092-871-6631　メール：toshinobu@fukuoka-u.ac.jp

〇研究参加予定施設（責任者）

福岡大学病院（松尾宏一）
大垣市民病院（郷真貴子）
鹿児島厚生連病院（森岡友美）
がん研有明病院（川上和宣）
国立病院機構九州医療センター（三好孝法）
国立病院機構九州がんセンター（衛藤智章）
国立がん研究センター東病院（川澄賢司）
岐阜大学医学部附属病院（飯原大稔）
伊勢赤十字病院（三宅知宏）
岡山大学病院（座間味義人）
広島市立広島市民病院（妹尾啓司）
静岡県立総合病院（中垣繁）
中国中央病院（大塚識稔）
京都第二赤十字病院（友金幹視）

松山赤十字病院（村上通康）

【問い合わせ先】
〇当院連絡先・相談窓口
〒602-8026 京都府京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5
京都第二赤十字病院　薬剤部　大坪　達弥
電話：075-231-5171（代）　Fax：075-212-6113（薬剤部）

〇研究事務局・相談窓口
〒814-0180　福岡市城南区七隈 8-19-1
福岡大学薬学部救急・災害医療薬学教室・福岡大学病院薬剤部・林稔展
Tel：092-871-6631　メール：toshinobu@fukuoka-u.ac.jp